



夏休みをここから始めよう

昨日の学年集会で私が話したことのポイントは3つ(+1)。

- 1 夏休み最終週(8月27日～)は試験2週間前になるから、中間試験で反省点のある人は、しっかり準備を始めてほしい。
- 2 夏休みは高校時代に3回しかない。3年生の夏休みを有効に活用できるように、今から練習してほしい。そのためには、計画的に過ごすこと。計画が失敗しても、その原因を考えることで、3年後の夏休みがうまく使えるようになる。
- 3 夏休みにしかできないこと、特に読書をしてほしい。毎日新聞を読む、ニュースを見るでもよい。学んだ知識を結びつける基礎を養ってほしい。

+1 オープンキャンパスへ行ってみよう！
帰りの学級タイムで、夏休みの計画表とその実行表を配った。計画が立てられなくても、実行表を塗りつぶすようにすれば、どれだけ勉強できたか(できなかったか?)だけは分かり、次に結びつけることができる。3回しかない夏休みの1回をまったくムダにしてしまうことのないようにしよう。

＊

ところで、2回目の個人面談も終わった。面談の場では、それぞれが自分のやるべきことを理解している印象を持った。あとはそれを実行できるかどうかにかかっている。

成績が向上しない多くの諸君に共通するのは、「分かっているのに実行できない」ということである。そして、そのことに自分でも

ウスウス気づいているのだが、何となくそのまま放置してあるというのが現状ではないだろうか。それは、放置しておいても、とりあえずは進級できるし、とりあえずは部活や行事が楽しくて、とりあえず学校生活が送れているからである。

しかし、目の前に「大学入試」という現実が登場した時に、それが許されるものではない(なかった)ことを身をもって実感することになる。昨日●●先生がおっしゃっていた、3年生が「もう一度1年生からやってみたい!」と切実に思うという話の背景には、こういう事情があるのである。

というわけで、何とか「実行する」ことが大切なわけだが、その基本が家での「自勉」である。学校の授業は我々に任せておけばよいのだから、その授業を有効活用し、さらに自分に必要な部分を補う「自勉」の実行が求められているわけである。

で、私としては(個人面接の際にも何人かの人には話したが)、とりあえず「勉強部屋の模様替え」を提案したい。つまり「自勉」できる環境をつくらうということである。つまらないことだが、こういうことが案外大切。具体的には、机の上からマンガやパソコン・テレビ(ゲーム)などを片づけて、何もない勉強のスペースを確保する。片づけた物品は、簡単には手の届かない場所に移動する・隠す。代わりに、参考所や辞書・読もうと思っている本などを置く、計画表を貼る、などである。夏休みはここから始めよう。